



2021年6月10日

各 位

会 社 名 竹 田 印 刷 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 全 幸 治
(コード番号 7875 東証第二部・名証第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 統 括 本 部 長 細 野 浩 之
TEL (052) 871-6351

「防災備蓄品」廃棄ロス削減を支援する
「企業向け防災備蓄品リユースサービス『Stock LinkS (ストックリンクス)』」
の提供開始のお知らせ

当社は、企業などが所有する賞味期限が近づいた防災備蓄品を、一般社団法人日本非常食推進機構と連携し、食料を必要とする人につなぐ「企業向け防災備蓄品リユースサービス『Stock LinkS (ストックリンクス)』」の提供を開始いたします。

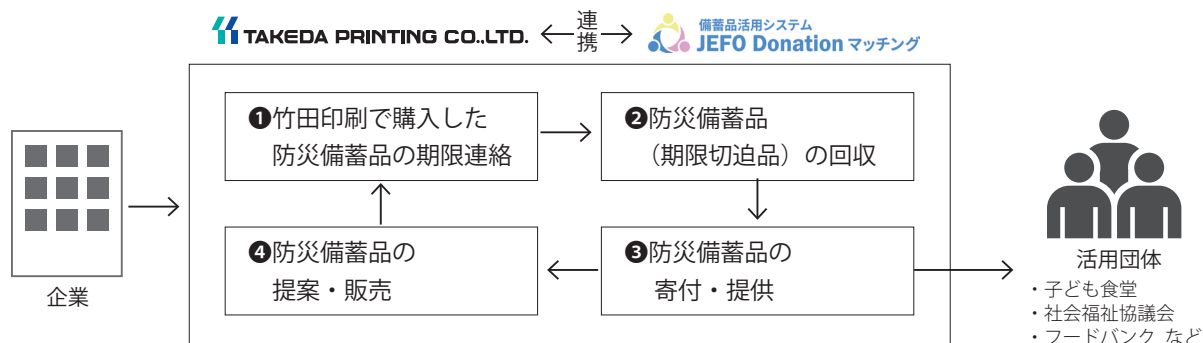
本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以上

日本の食品ロス年間 600 万トン以上（防災備蓄食料の廃棄は含まれていない） 企業の「防災備蓄品」廃棄ロス削減を支援するサービス開始 ～東日本大震災から 10 年を迎え、防災備蓄品入替えのタイミング～

竹田印刷株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：木全幸治）は、企業などが所有する賞味期限が近づいた防災備蓄品を、一般社団法人日本非常食推進機構*と連携し、食料を必要とする人につなぐ「企業向け防災備蓄品リユースサービス『Stock LinkS（ストックリンクス）』」のサービスを開始いたします。

■企業向け防災備蓄品リユースサービス『Stock LinkS』のしくみ



大規模な災害に備え防災備蓄品が増加する一方、大量廃棄の問題も浮き彫りに。
「もったいない」から「ありがとう」の循環の輪を広げるために。

東日本大震災をきっかけに防災備蓄品を導入した企業は多く、震災から 10 年を迎える今年は入替えを検討する企業も多いと思います。2019 年には東北の国行政機関のうち 42% が災害備蓄食料を全部廃棄したことが問題になりました。

防災備蓄品を処分するには、「産業廃棄物」もしくは、「一般廃棄物」として運搬・処理に別途費用が必要になる場合があります。さらに、食品を大量廃棄することにより企業イメージが低下する恐れもあります。社員に配布する企業もありますが、持ち帰ってもらえず、結局、廃棄せざるを得ないという結果になることも少なくありません。また、「業務が忙しい」「担当者が異動した」などの理由から、賞味期限を過ぎてしまって使えないケースや、事業所ごとで異なる種類の備蓄品を用意してしまい管理が煩雑になってしまっているなどの声をお客様からお聞きします。

こうした状況を受け、当社はネット通販事業で培った商流を活かし、日本非常食推進機構と連携のもと、購入いただいた防災備蓄品の賞味期限の管理、期限が近づいた防災備蓄品の回収、フードバンクを通じて企業と寄付を求める団体のマッチング、新たな防災備蓄品の購入までトータルにサポートする「企業向け防災備蓄品リユースサービス『Stock LinkS（ストックリンクス）』」で廃棄ロス削減を支援します。このサービスを通して、廃棄処分の負担をなくすだけでなく、食品ロス削減の 1 つの方法として CSR 活動にもつながります。

※三重県を拠点とし、防災関連の啓もう活動（各地の防災イベントへの参加や各種防災講座の開催等）や企業などが保持する防災備蓄品（期限切迫品）について活用団体への寄付をマッチングするプラットフォーム事業を実施。

Stock LinkS 詳細内容：https://www.takeda-prn.co.jp/common/pdf/tkd_stock_links.pdf

●本件に関するお問い合わせ

竹田印刷株式会社 担当：藤谷 由美（ふじたにゆみ）

TEL：052-871-6414 E-mail：ssdesign1@takeda-prn.co.jp FAX：052-872-1968

●竹田印刷株式会社について

愛知県に本社がある竹田印刷株式会社は、印刷から WEB・システム開発、イベントまで幅広く販促支援を行っています。企画、制作から納品、物流まで社内一貫生産のワンストップソリューションサービスでお客様の課題を解決します。

<https://www.takeda-prn.co.jp/>

